

視察研修報告書

1	委員会名									
	議会改革推進特別委員会									
2	実施名称（テーマ）									
	議会改革について 議場システムについて									
3	実施期日									
	令和6年11月6日、7日									
4	実施場所									
	千葉県 大網白里市 東京都 株式会社 東和エンジニアリング									
5	実施目的									
	議会改革推進特別委員会では、信頼される議会を目指して！（行動する、発信する、開かれた議会へ）をスローガンに改革項目を洗い出し、マンドラートを活用しそれぞれに目標スケジュールを決め議会改革をスタートしました。 既に議会モニター制度をスタートすることができました。 次の目標である本会議中継の充実化と委員会中継、また以降計画しているワールドカフェや議会のDX化等々について、そしてそれに伴うICTを活用した議場システムについての調査研究を目的に実施しました。									
	  									
6	参加者の氏名									
	<table border="0"> <tr> <td>委員長 剣持秀喜</td> <td>委員 関 美香</td> <td>議長 安原賢一</td> </tr> <tr> <td>副委員長 山田みどり</td> <td>委員 関 常明</td> <td>事務局長 田村深雪</td> </tr> <tr> <td>委員 割田三喜男</td> <td>委員 小栗芳雄</td> <td></td> </tr> </table>	委員長 剣持秀喜	委員 関 美香	議長 安原賢一	副委員長 山田みどり	委員 関 常明	事務局長 田村深雪	委員 割田三喜男	委員 小栗芳雄	
委員長 剣持秀喜	委員 関 美香	議長 安原賢一								
副委員長 山田みどり	委員 関 常明	事務局長 田村深雪								
委員 割田三喜男	委員 小栗芳雄									
7	その他									
	大網白里市は中之条町と昭和54年に姉妹町の締結をして以来、交流を重ねている自治体です。									

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名	
	劔持 秀喜	
2	視察研修の実施名称（テーマ）	
	2－1）千葉県大網白里市 議会中継や議会改革について 3－1）東京都 株式会社 東和エンジニアリング 議場システムについて	
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	
	大網白里市と中之条町議会の違うところ 議会中継について 1.L I V E配信を行っている 2.職員が編集作業を行っている 3.2台のカメラで議員執行部双方を映像化している 4.集音マイクを活用している 議会改革全般について 1.定数削減 平成27年に2名削減し現在18名、以降削減なし、見直しの予定もなし。 2.政務活動費 年間48,000円実績により後払いで交付。 当議会で検討進めている議場映像の広域化、低コストで行うのに大網方式が良いのではとの思いから視察してきましたが、この方式で早期に実現するよう推進すべきと感じました また、本会議のL I V E中継よりも当特別委員会で議論してきた委員会の録画配信を優先でよいと感じました。 東和エンジニアリングでの議場システムの研修について 県内でも沼田市や榛東村などで採用している最新鋭のシステムですが、庁舎(議場)の改修や、新築などと併せて行うのが現実的だと、そして最新システムは素晴らしいですが、最も大事なのはそこで行われる議論なので、当面議員、議会の資質向上を最優先に考えていくべきと再認識しました。	
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	
	町民から選ばれる議員、その集合体である議会、その活動が広く認知されていない、議会にその努力が不足していると感じています。今年度から、議会モニター制度が県内3番目にスタートしました。今後も政策モニター制度や、ワールドカフェ(町民との意見交換)等々、この特別委員会では町民目線で、議会のあるべき姿を追求し実行していきたいと思っています。	



視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名	
		山田みどり
2	視察研修の実施名称（テーマ）	
		○議会改革推進特別委員会視察研修 ・大網白里市議会の議会改革について ・議場のマイク、音響システムについて
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	
		○11月6日（水） 視察先 大網白里市議会 議長、副議長、議会運営委員正副委員長に対応していただき、議会改革について懇談。 議場内を見学し YouTube のライブ配信の方法などの説明を受けた。 リアル視聴は多いときで100名ほど、職員が対応しているが技術的には当町も可能であると思うがいかに視聴者を増やせるかが課題であると思う。 マイクが議席になく登壇席のみなので音が小さく集音マイクを置いて対処している。 傍聴者からはとくに聞こえないという声はないという。 ○11月7日（木） 視察先 東和エンジニアリング 議場などの音響システムを取り扱う会社を訪問し見学 議場の遠隔システムの導入によって登壇者のカメラワークがワンオペでできることやマイクなどの自動切り替えが可能となる。マイクのための導入自治体もあるが、会議システムをいれるとなると高額な費用がかかることから段階的に導入する自治体もあるとのこと。 また傍聴者に配慮した同時自動文字起こしのシステムは難聴、ろう者に議会の内容がわかるため導入を検討すべきでないかと思う。 課題は費用と既存のシステムの互換性がどこまで可能となるかということ。 また傍聴者や町民にとって有益となるものかが問われる。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	
		・当町は傍聴席からは音が聞こえづらいという傍聴者からの声がある。大網白里市での取り組みなどを参考に傍聴者へ配慮が必要であると考える。 ・議会改革の本質は、住民に開かれた議会となり、持続的に町民と議会が一体となった町づくりが行われるかが課題である。課題解消のために最優先すべきはなにかを捉え、取り組むべきと考える。

視察研修等委員別報告書

1	作成者	
		小栗芳雄
2	視察研修の実施名称（テーマ）	『議会改革推進特別委員会』県外視察研修 ・「大網白里市」議会中継と議会改革について。 ・「東和エンジニアリング」議会中継と議会システムについて。
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	（結論）・大網白里市議会では、「YouTube Live」を利用して導入経費・運用経費ともに大変安価なツールを利用して議会のライブ配信を行っているが、視聴者は大変少ない状況であり、編集した後の配信においても多くの人に視聴してもらえていないのが現状である。 中之条町議会で議会のライブ配信を行う場合には、経費はもちろんであるが視聴者が多くなるような検討をしっかりとする必要がある。 ・東和エンジニアリングの議場システムは素晴らしいが、庁舎を建て替えるときに検討する事項であり、現在の中之条町議会では検討する必要は無いと思う。 （所感）・大網白里市の議場にはマイクが2か所しかなく、発言者・答弁者の全員が移動しなければならず非効率で、中之条町の議場の素晴らしさが解かった。 ・議会のライブ中継の導入経費や運用経費が格安であり驚いたが、視聴者が大変に少なく残念であった。 ・議会だよりは全戸配布でなく、新聞折込と公共施設での配布だけとなっており、全22,249世帯に対し発行部数は11,800部と全世帯の半分程度である。 苦情は出ていないらしいが、議会だよりが発行されていることを知らないだけかもしれない。 ・東和エンジニアリングの会社内を見学することができたが、大変多くの職員がパソコンと格闘しており、システムが高額になる理由が分かった。 （提案）・議会のライブ中継は安価な資機材でも対応することが分かったが、視聴者が少ない現実も分かった。あまり早急に実施せずじっくりと検討して進めてほしい。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	・議会改革特別委員会での取り組みはスピードがあり素晴らしいと思うが、あまりに多くの課題に取り組むと歪みもでるので、もう少しじっくりと進めてもいいと思う。

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名
	関 常明
2	視察研修の実施名称（テーマ）
	○議会改革推進特別委員会視察研修 ・大網白里市議会の議会改革について ・議場のマイク、音響システムについて
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
	1.長いコロナ禍の時間を過ごした中で議会活動も制約があったと改めて感じた。社会全体がある分 で機能停止に追い込まれ人との交流が制限された。インターネットでの会議が当たり前になって いる社会生活のなかで議会として議員同士の直接の話し合いにも支障があった感があった。それ にかこつけて怠慢でなかったか全体的に後退していなかったかと反省点があるように感じる。吾 妻郡内でさえ情報交換もできないし行事の中止が続きマイナスの要素の連続だった。何年かぶり で大網白里市議会への視察は交流も含めていろんな意味で意義があった。人口増加の市と過疎化 が進んでいる町ではあるが議会が抱えている問題は共通点も多くあるように感じた。 2.視察事項であるが議会改革全般と議会中継についてさらに意見交換のテーマで取り組みがされ た。議会改革は北海道栗山町が先進的な取り組みが開始し全国の地方議会が方向性を模索し全国 的な課題となっていると認識している。大きな問題として以下いくつか上げて見る。 3.全国で問題になっている議員のなり手不足の問題もあり、さらに議会に注目してもらう課題につ いてであるが、人口1万人以下の町村だと全国的な傾向として無投票の傾向も見られるようであ る。当町は近年無投票になる年はないが、投票率の低下、無関心、議会が何をしているか解らな い等複合的な要素で町民がなかなか目を向けてくれない傾向にある。議会の責任が大きいのは当 たり前であるが、選挙管理委員会、町とも連携しながらまず教宣活動を進めていく地道な活動を 続けていくのが急務である。 4.情報公開については委員会の傍聴も含めさらに進めていく必要な場合ある。町政も含めてさらに 深度化をしていく方向性が必要。原則全面公開。 5.住民参加の施策は委員会でも当初から議論されている。モニター制度、ワールドカフェなど町民 参加、学生との意見交換は必要なのは当然であるが、まず議会の力量、議員ポテンシャル、全体 としての関心、総合力を見定めて進めないと空回りになりかねないと思う。 6.2日目の視察だったが、いわゆるDX関連は総合に勉強不足だったと感じる。これも全体的に力 量を上げていく必要がある。 以上久しぶりの視察の感想です。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
	議会改革の基本は議員一人ひとりの資質の向上に努めることが一番の目的である。そのために全 員が協力をしていくことが重要である。

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名	
	関美香	
2	視察研修の実施名称（テーマ）	
		議会改革推進特別委員会県外視察研修 ・大網白里市議会「議会中継について」 ・株式会社東和エンジニアリング「議場システムについて」
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	
		・「大網白里市議会」では、議会中継について説明を受けた後、議場内の機材設置状況や設定方法について研修させて頂きました。中之条町では本会議の録画配信を行っていますが、議会の情報発信において、本会議の議会中継についても今後の検討課題であると思うので、研修させて頂いた事を活かしながら、委員会の中で議会中継について議論を重ねて行きたいと思いました。 ・「株式会社東和エンジニアリング」では先進の議場システムについて研修させて頂きました。近隣市町村においては沼田市議会、榛東村議会がシステム導入されたとのお話を伺いました。傍聴席における難聴者向けの補助設備についても説明して頂き、中之条町においても傍聴席の環境整備について検討すべきではないかと感じました。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	
		・議会傍聴において、議会の内容が聞こえづらいとお声をお聞きするので、傍聴席における聞こえやすい環境づくりの検討をしていくべきと考えます。

視察研修等委員別報告書

1	作成者氏名	
		割田 三喜男
2	視察研修の実施名称（テーマ）	
		議会改革推進特別委員会視察研修 （1）大網白里市議会の議会改革について （2）議場のマイク、音響システムについて（(株)東和エンジニアリング）
3	実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）	
		（1）大網白里市の議会改革について ・インターネット議会中継は、平成 25 年から始まり、平成 30 年から YouTube でライブ配信及び録画放送をしている。質問・答弁席は固定（各 1 か所）で、音声は収音マイクで拾っているの で、鮮明である。また、ライブと録画放送は双方必要と感じた。 ・各種委員会の中継は、両市町ともしていなく色々と難しい面があるかと思うが、より詳しい議 論を住民にお知らせしたらどうかと考える。 （2）議場のマイク、音響システムについて（(株)東和エンジニアリング） ・町民に開かれた議会、議会機能充実のために、I C T 設備の整備や映像の活用は効果的で あると感じた。 ・議場内の音声を自動でテキスト変換し、傍聴席等のディスプレイにリアルタイムに字幕に表示 させるシステムについて、将来的には導入できたら良いのではと思う。
4	その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）	
		（1）大網白里市の議会改革について ・議会だよりを、駅構内のラックに配置し効果があったとのことで、当町も J R 中之条駅に配置 すれば、高校生にもより関心を持ってもらえるのではないかと。 ・政務活動費について、月 4,150 円、年間 49,800 円を交付している。当町も検討したらどうか。 （2）議場のマイク、音響システムについて（(株)東和エンジニアリング） ・議場内や委員会において、すべてに席に快適な音声を届けることは、スムーズな議会運営 や傍聴者等に重要なことなので、マイクや音響システムは改善する必要がある。 ・聞こえが不十分な方に向けた磁気ループを備えた傍聴席など整備ができるのではと考える。